

SDGs(持続可能な開発目標)と東北ろうきんの取組み



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs(持続可能な開発目標)とは

2015年9月、国連総会で「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」が採択され、「SDGs(持続可能な開発目標)」が公表されました。「誰一人取り残さない」という理念のもと、「貧困と飢餓の撲滅、保健と教育の改善、ジェンダー平等、エネルギー、雇用、気候変動対策や環境保護、不平等の解消」等、「17の目標と169のターゲット」から構成されています。

全ての人々が必要な金融サービスにアクセスでき利用できる状況をめざす「金融包摂」の考え方は、ろうきんの理念やビジョンとも合致しています。この取組みの強化に向けて、全国労働金庫協会は「ろうきんSDGs行動指針」を策定・公表し、当金庫においても、この行動指針に基づき、SDGsの達成に向けた取組みを展開していきます。

ろうきんSDGs行動指針 ~2019年3月~

- (ろうきん)は、「ろうきんの理念」とそれを実現するための「ろうきんビジョン」に基づき、勤労者のための非営利の協同組織金融機関として、勤労者の生涯にわたる生活向上のサポートに取組んでいます。(ろうきん)は、こうした活動をさらに強化・徹底し、勤労者を取り巻く様々な社会的課題の解決に取組むことを通じて、SDGsの達成をめざします。
- (ろうきん)は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていきます。
- (ろうきん)は、労働組合・生活協同組合などの会員や労働者福祉に関わる団体、協同組織・NPO・社会福祉法人・社団・財団などの非営利・協同セクター、自治体などとのネットワークを強化し、連携して地域における福祉・教育・環境・自然災害などの社会的課題の解決に取組んでいきます。
- (ろうきん)は、SDGs達成に向けた様々な取組みやその成果を発信し、(ろうきん)を利用することがSDGs推進につながっていくことを会員や勤労者など広く社会に伝えることにより、SDGs達成に向けた共感の輪を広げていきます。

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

ろうきんビジョン (2015年~2025年)

1. 勤労者の生活を生涯にわたってサポートします。
2. 非営利・協同セクターの金融的中核として、その役割を発揮します。
3. 人と人、人と地域をつなぐことを通じて、共生社会の実現に貢献します。

地域社会の活性化に関する取り組み

緊急避難所「こども110番」

こども等を対象とした犯罪が多発しており、地域を挙げた防犯・安全対策が求められています。当金庫では、店舗ATMコーナーを“万一の時に避難できる場所”として提供しています。



【設置店舗】

一関支店、北上支店、奥州支店、久慈支店、盛岡北支店、新塩釜支店、石巻支店、長町支店、仙台東支店、大館支店、大曲支店、米沢支店、山形北支店、福島支店、原町支店

「高齢者等見守り活動」への協力

“高齢者等にやさしい地域づくり”をめざした自治体の「高齢者等見守り活動」へ協力し、協定覚書の締結や事業所登録等を進めています。



【自治体名】むつ市、十和田市、釜石市、一関市、奥州市、岩沼市、南相馬市

職場体験学習などへの生徒の受け入れ

文部科学省では、生徒が社会体験を通して働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、一人ひとりの望ましい勤労観や職業観を育むために「職場体験活動(学習)」を推奨しています。



当金庫では“社会的役割発揮”をめざし、2018年度は6校から生徒を受け入れました。

【県ごとの内訳】岩手県4校、山形県1校、宮城県1校

寄付講座への講師派遣

「学生が労働の場で自分の身を守り、今後の企業活動に役立てる」ことを目的に、各県連合と提携し、年に一度、岩手大学・山形大学の「寄付講座」に講師を派遣しています。この講座では、ろうきんの理念や歴史、労働金庫運動等について講義を行っています。



「高校生・若者のための消費者講座」への講師派遣

福島県労働福祉協議会が主催する「高校生・若者のための消費者講座」にろうきん職員を講師として派遣しています。

この講座は、“これから社会を担う若者を金融トラブルから守る”ことを目的としており、お金に関する基礎知識を身につけていただいています。

2018年度は11校で開催され、968名の生徒が受講しています。



ろうきん5R運動

企業の社会的責任(CSR)を果たすため、地球温暖化防止に向けて以下の項目を基本とした取り組みを継続実施しています。

- 冷暖房の適正温度設定を実施し、省エネに努めています。
- 夏季は軽装による執務を実施しています。



ろうきん森の学校

労働金庫連合会の創立50周年記念社会

貢献活動として、全国5地区(福島、新潟、富士山、岐阜、広島)のNPO法人が森林環境教育事業を実施しています。当金庫エリア内では、福島県いわき市の「NPO法人 いわきの森に親しむ会」が森林整備・農作業、自然観察会や自然体験活動支援などの活動を行っており、2018年度は延べ8,383名の参加をいただいております。



ふれ愛の森ロッキー【山形県本部】

水と森を守るとともに、会員・市民の皆様の自然とのふれあいの場や各種レクリエーションの場として活用いただくことを目的に、1998年に西蔵王にオープンしています。



ろうきん杯学童軟式野球大会の開催【大曲支店】

2018年度で22回を迎えた本大会は、「地域への貢献と青少年の健全な心身の育成」をテーマに開催しています。なお、大曲支店は2018年3月12日に角館支店との店舗再編成を実施しており、今回が初の大曲支店を開催店舗とした大会となりました。



- 優勝/角館マックス野球スポーツ少年団
- 準優勝/神代若鮎野球スポーツ少年団

ろうきん杯学童軟式野球山形県選手権大会の開催【山形県本部】

青少年の健全な精神と身体の育成・地域社会の発展に寄与することを目的とし、1988年より毎年地区大会と県大会を開催しています。県大会は各地区予選会を勝ち抜いた8チームにより開催しました。決勝戦は雨天によるノーゲームとなったため、決勝戦進出の2チームが優勝となりました。



- 優勝/天童南部小リトルファイターズ
(山形地区第一代表)
松原ハーバー(酒田地区第一代表)

ろうきん杯争奪福島県ユース(U-15)サッカー選手権【福島県本部】

中学生の健全な心身の育成と地域間交流を重ねることを目的に、高円宮杯ユースサッカー選手権争奪を兼ね、福島県本部主催により県内各地区予選と県大会を開催しています。



- 優勝/Jヴィレッジスポーツクラブ
- 準優勝/ビアンコーネ福島 U-15
- 第三位/会津サントスFCジュニアユース
勿来・フォーウィングズ

NPO・ボランティア団体等への支援

NPO事業 サポートローン

NPOの経済的自立や社会的地位の向上を金融面から支援することを目的として、2007年12月より取扱っています。



自治体提携によるNPO融資 制度【宮城県本部】

2005年度から宮城県との提携融資制度を開始し、地域課題に取組むNPOの資金ニーズを支援しています。



2018年度東北ろうきん 復興支援助成金制度

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域で復旧・復興・被災者支援に従事するNPOやボランティア団体の活動支援を目的として2012年度に「東北ろうきん復興支援助成金制度」を創設し、助成を行っています。

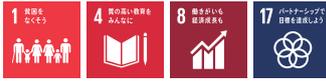
2018年度は41団体から応募を受け、選考の結果、10団体に対して1団体あたり30万円の助成金を交付しました。



団体名	所在地
1 東北大学インクストーンズ	仙台市
2 特定非営利活動法人 子どもの村東北	仙台市
3 特定非営利活動法人 スマイルシード	仙台市
4 一般社団法人 手話秋田普及センター	秋田市
5 特定非営利活動法人 虹のネットワーク	山形市
6 認定特定非営利活動法人 発達支援研究センター	山形市
7 特定非営利活動法人 With優	米沢市
8 特定非営利活動法人 ぴいかあぶつ	郡山市
9 特定非営利活動法人 ふよう土2100	郡山市
10 特定非営利活動法人 ピーターバンネットワーク	大沼郡津美里町

生活応援運動の展開

生活応援運動は、「生活設計サポート」「生活防衛サポート」「生活改善サポート」を運動の3つの柱とし、勤労者の生活のうち「お金」にまつわる諸問題を、勤労者のための金融機関であるろうきんが会員組合および推進機構との連携のもとで情報を共有し相談を受け、具体的解決をめざして取り組んでいます。



自然災害に係る取組み

自然災害(地震・台風・大雨・大雪等)により被害を受けられた皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

当金庫では、復興に向けた支援として、以下の災害関連ローンを取扱っています。

【東日本大震災】【平成30年7月豪雨(西日本豪雨)】

災害救援ローン(無担保):2020年3月末日までの受付、実行分
災害救援住宅ローン(不動産担保):2020年3月末日まで受付、2020年9月末日までの実行分

【山形県沖を震源とする地震】

災害救援ローン(無担保):2020年6月末日までの受付、実行分
災害救援住宅ローン(不動産担保):2020年6月末日まで受付、2021年6月末日までの実行分



多重債務対策の取組み

2006年12月の貸金業法改正を踏まえ、これまで以上の多重債務対策がろうきんに求められるとの認識から、2007年3月、全国労働金庫協会に「生活応援運動・多重債務対策本部」を立ち上げ、同年7月までに全国13金庫が同様の対策本部を設置しました。同年10月より、全国ろうきん統一施策として「多重債務対策特別強化月間～お金の問題!気づきキャンペーン～」を実施し、啓発・救済活動の一層の強化を図っています。

2016年には、個人の自己破産申立件数が13年ぶりに増加に転じており、改めて多重債務対策が重要になっています。当金庫としては金融庁が進める「多重債務者相談強化キャンペーン2018」を通して、相談窓口の周知活動を継続実施しています。また、職域や学校等での研修・学習会の開催、講師派遣、各種情報の提供などを通じた予防運動の一層の強化・救済活動の強化を進めています。

◆多重債務問題の 取組み状況

	2018年度
相談件数	65
当金庫の借換えローンの利用	29

(注)「当金庫の借換えローンの利用」は、年度中に融資実行した件数を記載しています。

◆会員労働組合と連携した 研修・学習会の開催状況

	2018年度	
	開催回数(回)	参加人数(人)
マネートラブル関連	165	3,717
マネートラブル以外の生活応援関連	1,959	38,551
合計	2,124	42,268

福祉金融機関としての預金・融資制度

◎預金

【ろうきんふれ愛預金】

地域の社会福祉施設等の支援を目的とした「ろうきんふれ愛預金」を取扱っています。

概要はP41に記載しています。

◎融資

「奨学金借換え融資制度教育ローン“Yo.Ri.So.I”(よりそい)」

現在、学校進学の際に利用した「奨学金」について、奨学金の返済負担が大きな社会問題となっています。当金庫では、返済負担軽減を目的とした低利な制度の取扱いを2016年10月より開始し、返済見直しのご相談に応じています。

国との連携による融資制度

雇用保険を受給できない方や公共職業能力開発施設に通う訓練生を対象にした融資制度は下記のとおりです。

- 求職者支援資金融資制度 2011年10月取扱い開始
- 技能者育成資金融資制度 2011年5月取扱い開始

◆利用状況

	求職者支援資金融資制度	技能者育成資金融資制度
件数	107	595
融資残高	23,527	489,700

(2019年3月末現在)

※制度概要はディスクロージャー誌(本冊)P41の「貸出業務のご案内」に記載しています。

地域社会を支援する取組み

社会貢献目的定期預金「ろうきんふれ愛預金」による寄付金の贈呈

2012年10月より、地域の社会福祉施設等の支援を目的とした社会貢献目的預金「ろうきんふれ愛預金」をお取扱いしています。



この預金は、お客様からお預けいただいた定期預金の適用金利を「定期預金(1年もの)店頭表示金利から30%を減じた金利」とさせていただきます、その金利差分の利息相当額に当金庫拠出金を加えた金額を、東北6県の福祉団体・福祉施設・NPO団体等へ寄付させていただいています。

「社会貢献したいが、どうしたら良いかわからない」「寄付をいつどこにしたら良いかわからない」という方にも、気軽に参加いただける社会貢献活動です。寄付金贈呈は2013年度より実施しており、2018年度は44団体に総額406万円を贈呈しています。



社会貢献目的預金「ろうきんふれ愛預金」の概要



団体名	所在地
特定非営利活動法人 レスパイトハウスWA	青森市
特定非営利活動法人 あおばの会	八戸市
社会福祉法人 茜育友会 障害福祉サービス事業所 ワークランド茜	弘前市
特定非営利活動法人 むつ下北子育て支援ネットワークひろば	むつ市
三沢ろう協会	三沢市
社会福祉法人 共生会 多機能型事業所 飛翔食房	北津軽郡鶴田町
大鰐町ボランティア連絡協議会	南津軽郡大鰐町
社会福祉法人 手をつなぐ さわら園	盛岡市
岩手県沿岸知的障害児施設組合 はまゆり学園	宮古市
特定非営利活動法人 こぼ	奥州市
社会福祉法人 カナンの園 奥中山学園	二戸郡一戸町
社会福祉法人 自立更生会 花巻アビリティセンター	花巻市
社会福祉法人 潤沢会 ワークステーション湯田・沢内	和賀郡西和賀町
岩手県障がい者作業所連絡協議会	盛岡市
せんだいこども食堂	仙台市
つるがや子ども食堂	仙台市
特定非営利活動法人 アスイク	多賀城市
輝き★とめ子ども食堂	登米市
特定非営利活動法人 障がい者雇用促進ネットワーク アクール	秋田市
特定非営利活動法人 あきた結いネット 就労継続支援B型 えこま〜る	秋田市
特定非営利活動法人 ハートランドひまわり 就労継続支援B型事業所 ワークサンフラー	大館市
特定非営利活動法人 太陽の園	横手市

団体名	所在地
特定非営利活動法人 違い 障がい者支援事業所 違い	由利本荘市
特定非営利活動法人 山形県ひとり親家庭福祉会	山形市
合同会社 リハサポート アーチ	山形市
グループホーム江南	山形市
山辺町社会福祉協議会 障がい者自立支援センター あおぞら	東村山郡山辺町
スワンの会	酒田市
特定非営利活動法人 そら 就労継続支援事業所 そらの輪	米沢市
鶴岡手をつなぐ親の会	鶴岡市
戸沢村身体障害者福祉協会	最上郡戸沢村
特定非営利活動法人 長井慈愛会	長井市
小国町立小国小学校「ことばの教室」	西置賜郡小国町
多機能型事業所 なかやま虹の丘	東村山郡中山町
上山市身体障がい者福祉協会	上山市
大石田町手をつなぐ育成会	北村山郡大石田町
特定非営利活動法人 置賜ひまわり会	南陽市
障害福祉サービス事業所 天童ひまわり園	天童市
社会福祉法人 あおぞら福祉会 菊の里	二本松市
社会福祉法人 ほっと福祉記念会 生活介護支援事業所 からふる+	郡山市
特定非営利活動法人 太陽 マーブル	西白河郡矢吹町
特定非営利活動法人 あすか 生活介護支援事業所 あすか	会津若松市
社会福祉法人 みどりのかぜ 生活介護事業所 のはら	いわき市
一般社団法人 ひまわりの家 共生型福祉施設 どんぐり	相馬市

被災地の子どもたちを応援

東日本大震災の被災地支援の一環として、地元の生産者と学生ボランティアにより企画開発された「山元いちごチョコレートランチ」を購入し、ウインターキャンペーン2018の景品としました。この商品は、地域の復興に繋げることを目的に、売上の一部が「宮城県東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付され、被災地支援に役立てられています。



福祉作業所商品購入の取組み【岩手県本部】

県内の福祉作業所支援のため、福祉作業所で販売している商品を購入し「ろうきんふれ愛預金」をお預けいただいた方に、お礼として差し上げています。

2018年度は県内福祉作業所4ヶ所から合計220個の商品を購入しました。

